

家族と地域における子育てに関する意識調査 報告書

平成 26 年 3 月

内閣府政府統括官(共生社会政策担当)

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	3
2	調査項目	3
3	調査対象	3
4	調査時期	3
5	調査方法	3
6	調査実施委託機関	3
7	回収結果	4
8	企画分析委員会	4
9	本報告書を読む際の留意点	5
10	調査対象者の基本属性	6
II	調査結果	7
1	結婚・家族形成についての意識	9
(1)	大切と思う人間関係やつながり (Q 1)	9
(2)	家族の役割として重要なこと (Q 2)	12
(3)	理想の家族の住まい方 (Q 3)	18
(4)	若い世代で未婚・晩婚が増えている理由 (Q 4)	24
(5)	将来の結婚意向 (Q 5b)	28
(6)	結婚を決心する状況 (Q 5c)	31
2	家庭における出産や子育てについての意識	34
(1)	希望する子ども人数 (Q 6)	34
(2)	今後、子どもを持つ場合の条件 (Q 7)	36
(3)	家庭での育児や家事の役割 (Q 8)	39
(4)	育児や家事で夫も行った方がよいと思うこと (Q 9)	45
(5)	祖父母の育児や家事の手助け (Q 10)	50
(6)	祖父母に期待する手助け (Q 11)	55
3	地域での子育て支援環境づくりについての意識	65
(1)	子育てする人にとっての地域の支えの重要性 (Q 12)	65
(2)	地域で子育てを支えるために重要なこと (Q 13)	69
(3)	参加したい子育てに関する活動 (Q 14)	74
(4)	公共の場での子ども連れの親への手助けや話しかけ (Q 15a)	81
(5)	子ども連れの親に対してしたいこと (Q 15b)	84
(6)	子ども連れの親の手助けをしないと思う理由 (Q 15c)	89
(7)	子ども連れの親に対して実際に行った行動 (Q 15d)	91
III	図表一覧	97

IV	調査票（単純集計結果付）	103
V	集計表	115
VI	標本抽出方法	221